

	新潟大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	人文学部（第1年次：225名 第3年次：6名）
沿 革	大正8（1919）年 新潟高等学校 設置 昭和24（1949）年 新潟大学人文学部 設置 昭和52（1977）年 人文学部を改組し、法文学部を設置 昭和55（1980）年 法文学部を改組し、人文学部を設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、人文学部が設置された。 昭和52（1977）年に、人文学部から法文学部へ改組された。 昭和55（1980）年に、人間とその文化に関する多角的・総合的な研究に基づき、広い視野と深い教養、高い倫理性を備え、現代社会の多様な課題に対応できる人材を育成することを目的として、法文学部から人文学部へ改組された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】 新潟大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国における人文科学分野の普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】 (学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人文科学分野の教育研究を通じて、人間とその文化に関する多角的・総合的な研究に基づき、広い視野と深い教養、高い倫理性を備え、現代社会の多様な課題に対応できる人材を養成する。 ○ このため、専門教育に関わる6つの主専攻プログラムとともに、「表現プロジェクト演習」をはじめとする特色ある教養科目を設けるなど、学士課程教育の質の向上に取り組んでいる。 ○ 今後、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等により、学士課程教育の質的転換に取り組む。

【研究】

- 人文科学分野における研究実績をいかし、環日本海地域研究、人間行動研究、テキスト論研究及び比較メディア研究といったプロジェクト型の総合的な研究を組織的に推進している。
- 今後、研究の学際化及びグローバル化が進行する中、知のネットワークを拡大するとともに、地域性という観点から新潟という場をいかす研究を促進し、我が国社会の課題解決・文化の発展に貢献することを目指す。また、地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 地域文化連携センターにおける地域歴史文化保全に関する活動や、越佐・新潟学推進センターにおいて佐渡をフィールドとした教育研究活動の実施など、教育・研究一体となった地域貢献活動を行っている。
- 大学のこれまでの実績や社会ニーズ、18歳人口動態を踏まえ、全学的な教育課程及び学内資源の再配分を踏まえた教育研究組織の見直しを視野に入れて検討する。